



田舎暮らし体験 交流事業紹介

市では、移住・定住を促進するため、平成20年度から田舎暮らし体験交流事業を実施しており、今年も多くの方が「勝山の田舎暮らし」を体験しました。

☎ 農業政策課（市役所1階） ☎88・8106



■住み込みでお手伝い
田舎暮らし体験交流事業は、「勝山田舎暮らし体験応援倶楽部キラリ」(以下、キラリ)が市から委託され、活動している業務です。

田舎暮らし体験とは、都会からの参加者に市内の農家の方の農作業などを手伝ってもらい、代わりに食事と宿泊先を提供する仕組みです。近年では国内はもちろんのこと、海外からも参加しています。

参加者からは「多くの自然に囲まれてリフレッシュできた」、受入先からは「参加者から元気をもたらえて、地区にも活気が出る」と、双方に喜ばれています。

■参加者について
今年度は11月末現在で81人の参加者があり、平成20年からの累計参加者は1254人と順調に人数を増やしています。

今年度人気の参加プログラムは、農作業のお手伝いです。地域別では、北は千葉県、南は兵庫県から参加があります。外国からは、アメリカやベトナム、イタリアなど様々な国から来日しています。滞在期間は1泊2日の参加が多いですが、長期休暇、夏休みを利用した1週間以上の滞在も目立ちます。また、日帰りで参加される方も増えてい

キラリでは、田舎暮らし体験の受入れをしたいという農家を募集しています。詳しくは、キラリ事務局までお問合せください。

☎ キラリ事務局（農業政策課内） ☎88-8106

■キラリとは？
キラリは平成27年4月に設立された団体で、田舎暮らし体験の事務局業務および勝山市の農産物をはじめとした地域資源の販売促進などを行い、更なる地域活性化を目指す団体です。

参加者の内訳（11月末現在）

年代	人数	地域	人数
10代未満	5	関東	11
10代	5	中部	54
20代	26	近畿	5
30代	17	海外	11
40代	3	計	81
50代	0	職業	人数
60代	8	社会人	46
計	81	学生	31
		その他	4
		計	81
性別	人数		
男	41		
女	40		
計	81		

ありがとうメッセージコンテスト入賞作品

身近な暮らしの中で感じた感謝の気持ちを39（サンキュー）文字以内で表した「ありがとうメッセージ」を募集したところ、1,167点の応募がありました。その中から、優秀賞作品10点をご紹介します。入賞作品は、市ホームページに掲載しています。

☎ 未来創造課（市役所2階）
☎88-1115

あかちゃんへ



あかちゃん、うまれてくれてありがとう、はやくおおきくなっていっしょにさんぽしよ。

あんなより
(成器南小1年 島田 杏菜)

えがおのおかあさんへ



いつもわたしのかおを見てわらってくれるのでえがおのおかあさんであんしんします。

わかなより
(成器西小2年 野邊 和奏)

おばあちゃんへ



お母さんを生んでくれてありがとう。こんなげんきなぼくがお母さんから生まれたよ。

ひろひとより
(成器南小3年 野瀬 裕仁)

おじいちゃんへ



ぼくとおじいちゃんは、おふろと温泉が大すき。またあちこち行こうね。ありがとう。

川崎 一樹より
(成器南小4年 川崎 一樹)

お父さんへ



私がおちこんでいる時やさしく声をかけてくれてありがとう。その声は私の宝物。

夢来より
(成器西小5年 北川 夢来)

かこへ



毎日わがままで生きてきてくれてありがとう。人の気持ちがわかるようになったよ。

山口 優月より
(成器南小5年 山口 優月)

お母さんへ



ケンカをした後、仲直り出来なかったらと後悔します。ごめんなさい。ありがとう。

しほより
(成器南小6年 鳥山 紫帆)

お兄ちゃんへ



私をほめて、認めてくれてありがとう。でも、どうか自分に自信をもってください。

妹より
(勝山北部中1年 福島 夏生)

おばあちゃんへ



毎晩の「おやすみ」の一言が今日もおばあちゃんがいるという安心感でよく寝れる。

前川 傑より
(勝山中部中2年 前川 傑)

おばあちゃんへ



楽しい話も楽しくない話も、家に帰って話すこと全部笑って聞いてくれてありがとう。

孫より
(勝山中部中3年 松村 史香)

入賞作品の展示について

勝山市教育会館
と き▶12月14日(木)～22日(金)

勝山サンプラザ
と き▶1月10日(水)～19日(金)

市立図書館
と き▶1月21日(日)～31日(水)